

# **FUJITSU Software**

## **Interstage List Creator V11.0.0**

# インストールガイド

Windows

B1X1-S094-01Z0(00)  
2021年6月

# まえがき

本書は、【Windows版】のインストール、アンインストール、インストール/アンインストール時の注意事項や参考となる情報などについて説明しています。

## ポイント

- ・ 制限事項、移行上の注意事項については、オンラインマニュアル“リリース情報”を参照してください。
- ・ 【Windows(x64)版】List Creator Enterprise Editionに添付されているWebプラグイン、【Windows(x64)版】List Creator Enterprise Edition、またはList Creator Standard Editionに同梱されているList Creator Workstation (x86)については、【Windows(x64)版】のインストールガイドを参照してください。

## 本書の構成

### 第1章 動作環境

本製品に必要なハードウェア、ソフトウェア、および旧バージョンのList Creatorとの整合性について説明しています。

### 第2章 必要な資源

本製品に必要なディスク容量およびメモリ量について説明しています。

### 第3章 提供媒体

本製品での提供媒体について説明しています。

### 第4章 インストール

本製品のインストールについて説明しています。

### 第5章 アンインストール

本製品のアンインストールについて説明しています。

### 第6章 サイレントインストール

本製品のサイレントインストールについて説明しています。

### 第7章 追加インストール

本製品の他のエディションを、同一マシンに追加インストールする手順および注意事項について説明しています。

## 付録

### 付録A CSVファイルを使用したサイレントインストール

CSVファイルを使用したサイレントインストール手順について説明しています。

### 付録B OutputASSISTからList Creatorへの移行手順

OutputASSISTからList Creatorへの移行手順について説明しています。

### 付録C ライセンス文

ライセンス文について説明しています。

## 本書の表記

本書は、オンラインマニュアル“マニュアル体系と読み方”に定義されている表記を使用しています。

表記については、オンラインマニュアル“マニュアル体系と読み方”を参照してください。

本書では、本製品を次のように略記しています。

正式名称	略称
Interstage List Creator デザイナ	List Creator デザイナ
Interstage List Creator	List Creator

正式名称	略称
SystemWalker/ListCREATOR Systemwalker ListCREATOR	ListCREATOR

本書では、List Creatorのエディションを次のように表記しています。

名称	表記	
Enterprise Edition	EE	
Standard Edition	SE	
Interstage List Creator Workstation V9.3.1以前 List Creator EE/SE V10.0.0以降に同梱のWorkstation機能	Workstation(x86)	Workstation
List Creator EE/SE V10.1.0以降に同梱のWorkstation機能(64bit)	Workstation(x64)	

本書では、ソフトウェアを以下のように表記しています。

ソフトウェア	表記		
• Interstage Print Manager	Print Manager		
• SystemWalker/PrintMGR • Systemwalker PrintMGR	PrintMGR		
• Interstage List Works	List Works		
• SystemWalker/ListWORKS • Systemwalker ListWORKS	ListWORKS		
• Interstage Charset Manager	Charset Manager		
• SystemWalker/CharsetMGR-M • Systemwalker CharsetMGR-M	CharsetMGR-M	CharsetMGR	
• SystemWalker/CharsetMGR-A • Systemwalker CharsetMGR-A	CharsetMGR-A		
• Interstage Studio Enterprise Edition • Interstage Studio Standard-J Edition	Interstage Studio		
• Adobe(R) Acrobat(R) • Adobe(R) Acrobat(R) DC 2015 • Adobe(R) Acrobat(R) DC Continuous • Adobe(R) Acrobat(R) 2017	Acrobat		Adobe Reader
• Adobe(R) Reader™ • Adobe(R) Reader(R)			
• Adobe(R) Acrobat(R) Reader™ • Adobe(R) Acrobat(R) Reader • Adobe(R) Acrobat(R) Reader(R) DC 2015 • Adobe(R) Acrobat(R) Reader(R) DC Continuous • Adobe(R) Acrobat(R) Reader(R) 2017	Adobe Reader		
	Acrobat Reader		
• Microsoft(R) Office Excel(R)	Microsoft Excel		
• Interstage Application Server Standard-J Edition	Interstage Application Server		

ソフトウェア	表記	
<ul style="list-style-type: none"><li>• Interstage Application Server Web-J Edition</li><li>• Interstage Application Server Plus</li><li>• Interstage Application Server Standard Edition</li><li>• Interstage Application Server Enterprise Edition</li><li>• Interstage Web Server</li></ul>		
<ul style="list-style-type: none"><li>• Interstage Application ServerのInterstage HTTP Server</li><li>• Interstage Web ServerのInterstage HTTP Server</li></ul>	Interstage HTTP Server	
<ul style="list-style-type: none"><li>• Microsoft(R) Internet Information Service</li></ul>	IIS	
<ul style="list-style-type: none"><li>• SymfoWARE(R) Server Standard Edition</li><li>• SymfoWARE(R) Server Enterprise Edition</li><li>• Symfoware(R) Server Standard Edition</li><li>• Symfoware(R) Server Enterprise Edition</li></ul>	Symfoware	
<ul style="list-style-type: none"><li>• Microsoft(R) SQL Server(R)</li></ul>	SQL Server	
<ul style="list-style-type: none"><li>• Interstage Navigator Server Base Edition</li><li>• Interstage Navigator Server Standard Edition</li><li>• Interstage Navigator Server Enterprise Edition</li></ul>	Interstage Navigator Server	
<ul style="list-style-type: none"><li>• Microsoft(R) SQL Server(R) 2017 Enterprise Edition</li><li>• Microsoft(R) SQL Server(R) 2017 Standard Edition</li></ul>	SQL Server 2017	
<ul style="list-style-type: none"><li>• Microsoft(R) SQL Server(R) 2017 Enterprise Edition Integration Services</li></ul>	Microsoft SQL Server Integration Services	SSIS
<ul style="list-style-type: none"><li>• Microsoft(R) SQL Server(R) 2017 Standard Edition Integration Services</li></ul>		
<ul style="list-style-type: none"><li>• Systemwalker Centric Manager Standard Edition</li><li>• Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition</li><li>• Systemwalker Centric Manager Global Enterprise Edition</li></ul>	Centric Manager	
<ul style="list-style-type: none"><li>• NetCOBOL Base Edition</li><li>• NetCOBOL Standard Edition</li><li>• NetCOBOL Professional Edition</li><li>• NetCOBOL Enterprise Edition</li></ul>	NetCOBOL	
<ul style="list-style-type: none"><li>• MeFt</li></ul>	MeFt	MeFt
<ul style="list-style-type: none"><li>• NetCOBOL開発・運用パッケージのMeFtコンポーネント</li><li>• NetCOBOL運用パッケージのMeFtコンポーネント</li></ul>	NetCOBOLのMeFtコンポーネント	
<ul style="list-style-type: none"><li>• Java™ Platform, Standard Edition</li></ul>	Java SE	
<ul style="list-style-type: none"><li>• Microsoft(R) Visual C++(R)</li></ul>	Visual C++	
<ul style="list-style-type: none"><li>• Microsoft(R) Visual C#(R)</li></ul>	Visual C#	
<ul style="list-style-type: none"><li>• Microsoft(R) Internet Explorer(R)</li><li>• Windows(R) Internet Explorer(R)</li></ul>	Internet Explorer	
<ul style="list-style-type: none"><li>• Fujitsu XML Library</li></ul>	XML Library	

オペレーティングシステムがWindowsの場合




正式名称	略称
Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Datacenter	Windows Server 2016
Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Datacenter	Windows Server 2019
Windows(R) 8.1 Enterprise 32ビット版 Windows(R) 8.1 Pro 32ビット版 Windows(R) 8.1 32ビット版 Windows(R) 8.1 Enterprise 64ビット版 Windows(R) 8.1 Pro 64ビット版 Windows(R) 8.1 64ビット版	Windows 8
Windows(R) 10 Home 32ビット版 Windows(R) 10 Pro 32ビット版 Windows(R) 10 Enterprise 32ビット版 Windows(R) 10 Home 64ビット版 Windows(R) 10 Pro 64ビット版 Windows(R) 10 Enterprise 64ビット版	Windows 10
Microsoft(R) インターネット インフォメーション サービス	IIS

なお、オペレーティングシステムを総称する場合などは、以下のように表記して説明しています。また、本書では、「オペレーティングシステム」を「OS」と略記している箇所があります。

表記	意味
Windows 64ビットOS	64ビットで動作する、Windowsシステムを表します。
Windows 32ビットOS	32ビットで動作する、Windowsシステムを表します。

## マーク・記号について

本書では、以下のようなマークや記号を使用しています。

マーク・記号	意味
 <b>注意</b>	特に注意していただきたいことを記述しています。 必ずお読みください。
 <b>ポイント</b>	知っていると役立つ情報を記述しています。
 <b>参考</b>	参考として知ってほしい情報を記述しています。

## 輸出管理規制について

本ドキュメントを輸出または第三者へ提供する場合は、お客様が居住する国および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。

## 商標について

Interstage、Systemwalker、およびSymfoware は、富士通株式会社の登録商標です。

ActiveX、Microsoft、Windows、Windows Server、Visual C++、Visual C# は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

SAP、その他のSAP製品は、ドイツ及びその他の国におけるSAP AGの商標または登録商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Oracle SolarisはSolaris, Solaris Operating System, Solaris OSと記載することがあります。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、およびReaderは、Adobe Systems Incorporatedの米国またはその他の国における商標または登録商標です。Wordは、米国Microsoft Corporationの製品です。

Google Chrome、Google Chromeロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

本書に記載されている社名、システム名、製品名などには、必ずしも商標表示((R)、TM)を付記しておりません。

## 著作権表示

Copyright 2016-2021 FUJITSU LIMITED

© PFU Limited 2016-2021

# 目 次

第1章 動作環境.....	1
1.1 List Creatorの製品種別.....	1
1.2 【Windows版】の動作環境.....	1
1.2.1 製品種別と動作オペレーティングシステム.....	1
1.2.2 必要なソフトウェア.....	2
1.2.2.1 帳票設計時.....	2
1.2.3 必要なハードウェア.....	6
第2章 必要な資源.....	7
2.1 インストール時に必要なディスク容量.....	7
2.2 運用に必要なディスク容量.....	7
2.3 運用に必要なメモリ量.....	7
第3章 提供媒体.....	8
3.1 List Creator デザイナーの場合.....	8
3.2 媒体内のプログラム.....	9
第4章 インストール.....	11
4.1 List Creatorデザイナーのインストール.....	11
4.1.1 インストール前の作業.....	11
4.1.2 インストール方法.....	13
4.1.3 インストール後の作業.....	14
4.2 SSIS連携機能のインストール.....	14
4.2.1 インストール前の作業.....	14
4.2.2 インストール方法.....	14
4.2.3 インストール後の作業.....	14
4.3 XML Libraryのインストール.....	14
4.3.1 インストール前の作業.....	15
4.3.2 インストール方法.....	16
4.3.3 インストール後の作業.....	16
第5章 アンインストール.....	17
5.1 List Creatorデザイナーのアンインストール.....	17
5.1.1 アンインストール前の作業.....	17
5.1.2 アンインストール方法.....	17
5.1.3 手動による製品の削除手順.....	17
5.1.4 アンインストール後の作業.....	20
5.2 SSIS連携機能のアンインストール.....	21
5.2.1 アンインストール前の作業.....	21
5.2.2 アンインストール方法.....	21
5.2.3 手動による製品の削除手順.....	21
5.2.4 アンインストール後の作業.....	22
5.3 XML Libraryのアンインストール.....	22
5.3.1 アンインストール前の作業.....	22
5.3.2 アンインストール方法.....	22
5.3.3 アンインストール後の作業.....	22
第6章 サイレントインストール.....	23
6.1 インストール方法.....	23
第7章 追加インストール.....	26
付録A CSVファイルを使用したサイレントインストール.....	27
A.1 インストールパラメーターCSVファイルの作成.....	28
A.1.1 インストールパラメーターCSVファイル.....	28
A.1.2 installInfoパラメーター.....	28
A.1.3 parametersパラメーター.....	28

A.2 サイレントインストールの実行.....	29
A.2.1 インストール前に必要な作業.....	29
A.2.2 インストールに必要な資源.....	29
A.2.3 インストール手順.....	29
A.2.4 出力メッセージ.....	30
A.2.5 インストール後の操作.....	33
A.3 CSVファイルの形式.....	33
付録B OutputASSISTからList Creatorへの移行手順.....	35
付録C ライセンス文.....	36
索引.....	41



# 第1章 動作環境

ここでは、List Creatorの動作環境について説明します。

なお、本章は、あらかじめオンラインマニュアル“解説編”でList Creatorの概要、基礎知識、機能、運用形態、およびサポート範囲などの記載をお読みいただくことを前提に記載しています。

## ポイント

List Creatorと連携する関連製品の動作環境については、関連製品のマニュアルを参照してください。

## 1.1 List Creatorの製品種別

List Creatorには、帳票を設計する製品と、帳票を運用する製品があります。

### 帳票を設計するための製品

帳票を設計するには、以下の製品が必要です。UNIX系OSの帳票出力サーバで出力する帳票も、Windows版のList Creator デザイナで設計します。

- List Creator デザイナ

### 帳票を運用するための製品

帳票を運用するには、以下のいずれかの製品が必要です。

- List Creator Enterprise Edition
- List Creator Standard Edition
- List Creator Connector

以下に、動作オペレーティングシステムごとのList Creatorの製品種別について示します。

List Creatorの オペレーティング システム種別	帳票運用製品			帳票設計製品
	List Creator Enterprise Edition	List Creator Standard Edition	List Creator Connector	List Creator デザイナー
Windows版	—	—	—	○
Windows(x64)版	○	○	○	—
Solaris版	○	○	○	—
Linux for Intel64版	○	○	○	—

○:サポート  
—:未サポート

## 1.2 【Windows版】の動作環境

ここでは、【Windows版】の動作環境について説明します。対象となるバージョンレベルは、V11.0.0です。

本節に記載されている関連製品で、製品のバージョンレベルに、「～以降」と表記しているものについては、表記しているV/L以降で、かつ2020年12月までに出荷されている製品のサポートとなります。

### 1.2.1 製品種別と動作オペレーティングシステム

【Windows版】の製品種別と動作オペレーティングシステムについて説明します。

## 製品種別

製品種別は、以下のとおりです。

- ・ List Creator デザイナ(\*1)

\*1:

List Creator デザイナには、オーバーレイユーティリティが添付されています。

## 動作オペレーティングシステム

以下に、【Windows版】の製品種別と、動作オペレーティングシステムを示します。

表1.1 【Windows版】の製品種別と動作オペレーティングシステム

動作する オペレーティング システム(*1)	製品種別	
	List Creator デザイナ	
	List Creator デザイナ	オーバーレイ ユーティリティ
Windows Server 2016	○	○
Windows Server 2019	○	○
Windows 8	○	○
Windows 10	○	○

○:サポート

\*1:

Windows 64ビットOSを使用する場合は、WOW64 サブシステム上で、32 ビットアプリケーションとして動作します。



## ポイント

Navigator連携機能(帳票設計機能)の動作オペレーティングシステムごとのサポート範囲を以下に示します。

機能		動作オペレーティングシステム		
		Windows Server 2016、 Windows Server 2019	Windows 8、 Windows 10	
		64ビットOS	32ビットOS	64ビットOS
Navigator連携機能	帳票設計機能	○	—	—

○:サポート

—:未サポート

## 1.2.2 必要なソフトウェア

### 1.2.2.1 帳票設計時

帳票を設計する場合に、必要なソフトウェアについて説明します。

#### オーバーレイを作成する場合

既存の帳票 (WordやPDF) イメージからオーバーレイを作成する場合に必要なソフトウェアを示します。

機能	必要なソフトウェア	インストールするコンピュータ
既存の帳票 (WordやPDF) イメージからオーバーレイを作成する	オーバーレイユーティリティ(*1)	帳票を設計するコンピュータ

\*1:  
オーバーレイユーティリティは、List Creator デザインに添付されています。

## 外字を使用する場合

外字を使用した帳票、および入力データを使用する場合に必要なソフトウェアを示します。

機能	必要なソフトウェア	インストールするコンピュータ
外字を使用した帳票、および入力データを使用する	Charset Manager Standard Edition Agent V6.0L10以降 (*1)	帳票を設計するコンピュータ
明朝フォント/ゴシックフォントのJEF 拡張文字を使用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>JEF拡張漢字サポート V4.1L40以降 (*2)</li> <li>JEFゴシックフォント V2.1L10以降 (*3)</li> </ul>	

\*1:  
Charset Managerの資源管理サーバにCharset Manager Standard Editionも必要です。

\*2:  
JEF拡張文字の明朝フォントを使用する場合に必要です。

\*3:  
JEF拡張文字のゴシックフォントを使用する場合に必要です。

## Navigator連携機能を使用する場合

Navigator連携機能を使用して帳票定義情報を設計する場合に必要なソフトウェアを示します。

機能	必要なソフトウェア	インストールするコンピュータ
Navigator連携機能を使用して帳票を設計する	Interstage Navigator Server V9.0.0以降に同梱の Navigator Windowsクライアント	帳票を設計するコンピュータ
Interstage Navigator Serverから取得する情報を参照する	以下のいずれかが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft Excel 2013</li> <li>Microsoft Excel 2016</li> <li>Microsoft Excel 2019</li> </ul>	

## SSIS連携機能を使用する場合

SSIS連携機能を使用してSSISパッケージを開発する場合に必要なソフトウェアを示します。

機能	必要なソフトウェア	インストールするコンピュータ
SSISパッケージを開発する	以下のいずれかの開発ツールが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft SQL Server 2017 Enterprise Edition Integration Services</li> <li>Microsoft SQL Server 2017 Standard Edition Integration Services</li> </ul>	帳票を設計するコンピュータ
	Microsoft Visual Studio 2017	

機能	必要なソフトウェア	インストールするコンピュータ
	SSDT for Visual Studio 2017	

### 「XML形式」の入力データを使用する場合

XML形式の入力データを使用する場合、またはXMLファイル/DTDファイルを参照して帳票を設計する場合に必要なソフトウェアを示します。

機能	必要なソフトウェア	インストールするコンピュータ
XML形式の入力データを使用する	XML Library V3.0以降、または 富士通XMLプロセッサ V3.0以降 (*1)(*2)	帳票を設計するコンピュータ
	Internet Explorer	
DTDファイルを参照して帳票を設計する	Internet Explorer	

\*1:

List Creator デザイナーには、XML Library V5.2が添付されています。

List Creator以外の製品 (Windows 64ビットOS版) に添付されているXMLプロセッサまたはXML Libraryは使用できません。

\*2:

帳票資源の格納先、または帳票の出力先を(¥¥コンピュータ名¥共有名¥ディレクトリ名)で参照する場合は、XML Library V5.2以降が必要です。

### プレビューする場合

プレビュー機能を使用して帳票レイアウト情報の出力イメージを確認する場合に必要なソフトウェアを示します。

機能	必要なソフトウェア	インストールするコンピュータ
PDFファイルで出力イメージを確認する	以下のいずれかが必要です。 ・ Adobe Acrobat Reader DC以降 ・ Adobe Acrobat DC以降	帳票を設計するコンピュータ
Excelファイルで出力イメージを確認する	以下のいずれかが必要です。 ・ Microsoft Excel 2013 ・ Microsoft Excel 2016 ・ Microsoft Excel 2019	

### 帳票の仕様を確認する場合

帳票の仕様を確認する場合に必要なソフトウェアを示します。

機能	必要なソフトウェア	インストールするコンピュータ
PDFファイルで帳票の仕様を確認する	以下のいずれかが必要です。 ・ Adobe Acrobat Reader DC以降 ・ Adobe Acrobat DC以降	帳票を設計するコンピュータ
Excelファイルで帳票の仕様を確認する (*1)	以下のいずれかが必要です。 ・ Microsoft Excel 2013	

機能	必要なソフトウェア	インストールするコンピュータ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft Excel 2016</li> <li>Microsoft Excel 2019</li> </ul>	

\*1:

帳票イメージを確認したい場合は、以下のいずれかのソフトウェアが必要です。

- Adobe Acrobat Reader DC以降
- Adobe Acrobat DC以降

## 出力した帳票一覧を確認する場合

出力した帳票一覧を確認する場合に必要なソフトウェアを示します。

機能	必要なソフトウェア	インストールするコンピュータ
PDFファイルで出力した帳票一覧を確認する	以下のいずれかが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Adobe Acrobat Reader DC以降</li> <li>• Adobe Acrobat DC以降</li> </ul>	帳票を設計するコンピュータ
Excelファイルで出力した帳票一覧を確認する	以下のいずれかが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft Excel 2013</li> <li>• Microsoft Excel 2016</li> <li>• Microsoft Excel 2019</li> </ul>	

## 帳票コード変換をする場合 (EUC (S90) へ変換する場合のみ)

Windowsで設計した帳票定義情報をEUC環境のSolaris/Linux上で使用するには、帳票定義情報を文字コード変換する必要があります。

帳票定義情報をEUC (S90) コード系に変換する場合に必要なソフトウェアを示します。

機能	必要なソフトウェア	インストールするコンピュータ
帳票定義情報をEUC (S90) コード系に変換する	以下のいずれかが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Charset Manager Standard Edition V6.0L10以降</li> <li>• Charset Manager Standard Edition Agent V6.0L10以降</li> </ul>	帳票を設計するコンピュータ

## 帳票レイアウトのインポート機能を使用する場合

帳票レイアウトのインポート機能を使用して帳票を作成する場合に必要なソフトウェアを示します。

機能	必要なソフトウェア	インストールするコンピュータ
帳票レイアウトのインポート機能を使用して帳票を作成する	XML Library V3.0 以降、または富士通XMLプロセッサ V3.0以降 (*1)	帳票を設計するコンピュータ
	Microsoft .NET Framework 4.5.2 以降	

\*1:

List Creator デザイナには、XML Library V5.2が添付されています。

List Creator以外の製品 (Windows 64 ビットOS 版) に添付されているXMLプロセッサまたはXML Libraryは使用できません。

### 1.2.3 必要なハードウェア

---

以下のハードウェアが必要です。

List Creatorデザイナーの場合

- PRIMERGY
- PRIMEQUEST 3000/2000/1000シリーズ
- FMV
- マルチベンダーサーバ
- マルチベンダークライアント

#### ポイント

.....

帳票設計時には、解像度800×600ピクセル以上のディスプレイが必要です。

推奨解像度は、1024×768ピクセル以上です。

.....

## 第2章 必要な資源

ディスク容量やメモリ量などの、List Creatorで必要な資源について説明します。

### 2.1 インストール時に必要なディスク容量

インストール時に必要なディスク容量は、以下のとおりです。

List Creatorデザイナ	
インストールフォルダ	システムフォルダ
約300MB	約200MB

以下の機能をインストールする場合は、以下のディスク容量もあわせて必要です。

インストールする機能	List Creatorデザイナ	
	インストールフォルダ	システムフォルダ
XML Library	—	約10MB

### 2.2 運用に必要なディスク容量

運用に必要なディスク容量について説明します。

#### 帳票を設計する場合

ありません。

### 2.3 運用に必要なメモリ量

運用に必要なメモリ量は、以下のとおりです。

使用する機能に記載されているメモリ量を、あわせて計算してください。

#### 帳票を設計する場合

メモリ48Mバイト以上

「帳票様式定義画面」で下敷きイメージの表示機能、下敷きイメージのオーバーレイ変換機能、およびOCR認識機能を使用する場合

モノクロ:60Mバイト以上

カラー :100Mバイト以上

帳票レイアウトのインポート機能を使用して帳票を設計する場合

100Mバイト以上

Navigator連携機能を使用して帳票を設計する場合

84Mバイト以上

SSISパッケージを開発する場合

192Mバイト以上

仕様印刷機能を使用して帳票イメージをPDFファイルおよび、Excelファイルに出力する場合

75Mバイト以上

プレビュー機能を使用してPDFファイル出力および、Excelファイル出力イメージを確認する場合

75Mバイト以上

## 第3章 提供媒体

本製品の提供媒体について、説明します。

### 3.1 List Creator デザイナーの場合

List Creatorデザイナーは、以下の2枚の製品媒体で構成されています。

#### 1枚目の製品媒体(DVD)

Windows 32ビットOS用のList Creatorデザイナー

#### 2枚目の製品媒体(DVD)

Windows 64ビットOS用のList Creatorデザイナー



#### 注意

#### 製品媒体(2/2)に関する留意事項

- Windows 64ビットOSのみサポートします。Windows 64ビットOSでは、WOW64 (Windows 32-bit On Windows 64-bit) サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。
- List Creator V11.0.0 (x64) の他のエディションと混在インストールして使用する場合、製品媒体(2/2)を選択してください。
- Navigator連携機能は未サポートです。

1枚目の製品媒体に収められている主なファイルは、以下のとおりです。

¥	---+---	Autorun.exe	List Creator デザイナーのインストーラ			
	+---	citool¥	サイレントインストール資材一式			
	+---	FJQSS_ROOT¥	FJQSSインストーラ			
	+---	SidSetup¥	インストール資材一式			
	+---	vcredist¥	Visual Studio 2015、2017、および 2019 用 Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージ (x64) (x86)			
	+---	memoryestimate.xlsx	Excel ファイル出力で行数拡張指定時のメモリ見積り用シート			
		<日本語OS用>				
	+---	Japanese¥				
		+---+---	Manual¥	LCMaNavi.exe	マニュアルナビ (*1)	
					<オーバーレイユーティリティ>	
		+---	Ovdut¥	+---+---	ISsetup.exe	オーバーレイユーティリティのインストーラ
				+---	ovdut.pdf	オーバーレイユーティリティのオンラインマニュアル
						<XML Library (*1) >
		+---	XML¥	--	FujitsuXMLLib.msi	XML Libraryのインストーラ
						<SSIS連携機能>
		+---	LCSSIS¥	--	setup.exe	SSIS連携機能のインストーラ
		<英語OS用>				
	+---	English¥		+---+---	Manual	マニュアル
						<オーバーレイユーティリティ>
		+---	Ovdut¥	--	ISsetup.exe	オーバーレイユーティリティのインストーラ



| <XML Library (\*1)>  
+-- XML¥ -- FujitsuXMLLib.msi XML Libraryのインストーラ

\*1:マニュアルナビとは、オンラインマニュアルを参照するためのツールです。詳しくは、ソフトウェア説明書を参照してください。

2枚目の製品媒体に収められている主なファイルは、以下のとおりです。

¥	---+--	Autorun.exe		List Creator デザイナのインストーラ
	+--	citool¥		サイレントインストール資材一式
	+--	FJQSS_ROOT¥		FJQSSインストーラ
	+--	SidSetup¥		インストール資材一式
	+--	vcredist¥		Visual Studio 2015、2017、および 2019 用 Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージ (x64) (x86)
	+--	memoryestimate.xlsx		Excelファイル出力で行数拡張指定時のメモリ見積り用シート
		<日本語OS用>		
	+--	Japanese¥	---+--	Manual¥ -- LCMaNavi.exe マニュアルナビ (*1)
				<オーバーレイユーティリティ>
			+--	Ovdut¥ ---+-- ISsetup.exe オーバレイユーティリティのインストーラ
				+-- ovdut.pdf オーバレイユーティリティのオンラインマニュアル
				<XML Library (*1) >
			+--	XML¥ ---+-- Win32¥ -- FujitsuXMLLib.msi XML Libraryのインストーラ (Windows 32ビットOS用)
				+ Win64¥ -- FujitsuXMLLib-x64.msi XML Libraryのインストーラ (Windows 64ビットOS用)
				<SSIS連携機能>
			+--	LCSSIS¥ -- setup.exe SSIS連携機能のインストーラ
		<英語OS用>		
	+--	English¥	---+--	Manual マニュアル
				<オーバーレイユーティリティ>
			+--	Ovdut¥ -- ISsetup.exe オーバレイユーティリティのインストーラ
				<XML Library (*1) >
			+--	XML¥ ---+-- Win32¥ -- FujitsuXMLLib.msi XML Libraryのインストーラ (Windows 32ビットOS用)
				+ Win64¥ -- FujitsuXMLLib-x64.msi XML Libraryのインストーラ (Windows 64ビットOS用)

\*1:マニュアルナビとは、オンラインマニュアルを参照するためのツールです。詳しくは、ソフトウェア説明書を参照してください。

## 3.2 媒体内のプログラム

本製品の媒体で提供しているプログラムは、以下のとおりです。

### <オーバーレイユーティリティ>

オーバーレイユーティリティは、任意のアプリケーションプログラムから印刷を行うことにより、オーバーレイ、および帳票を作成するためのソフトウェアです。

オーバーレイユーティリティを使用すると、使い慣れたツールで設計した帳票イメージや、インターネットで公開されている PDF ファイルの帳票イメージなどを簡単にオーバーレイファイルに変換することができます。

詳細については、List Creator デザイナの製品媒体の¥Japanese¥Ovdut フォルダ配下のオンラインマニュアル (ovdut.pdf) をご覧ください。

なお、オーバーレイユーティリティの旧バージョンレベルがインストールされている環境に、当バージョンレベルのオーバーレイユーティリティを上書きインストールすることはできません。

旧バージョンレベルのオーバーレイユーティリティをアンインストールしてから、インストールしてください。

#### <XML Library (\*1) >

List CreatorでXML形式の入力データを使用して帳票出力する場合、またはXMLファイルを参照して帳票を設計する場合に必要です。

List Creatorには、XML Library V5.2を同梱しています。

\*1:

XML Libraryは、XML SDK のXMLプロセッサに含まれるWindows版 COMコンポーネントの実行ライブラリです。

XML Libraryは、DOMおよびSAXアプリケーションインタフェースを提供しています。

#### <SSIS連携機能>

SSIS連携機能は、SSISを使って帳票を出力する機能です。SSISでList Creatorを利用するためのデータフロー コンポーネントを提供します。

帳票出力にはList Creatorを使用します。SSISパッケージを実行することによりList Creatorを実行し、帳票を出力します。

#### <FJQSS>

FJQSS (資料採取ツール)は、トラブル調査に必要な資料を簡単な操作で採取できるツールです。トラブル発生直後に、FJQSS (資料採取ツール)を使うことで迅速な原因究明につながります。

FJQSS については、以下で表示されるマニュアルを参照してください。

**Windows Server 2016、またはWindows Server 2019の場合**

「スタート」メニューの「FJQSS(資料採取ツール)」-「FJQSS ユーザーズガイド」

**Windows 10の場合**

「スタート」メニューの「すべてのアプリ」-「FJQSS(資料採取ツール)」-「FJQSS ユーザーズガイド」

**Windows 8の場合**

アプリ画面の「FJQSS(資料採取ツール)」-「FJQSS ユーザーズガイド」

## 第4章 インストール

List Creatorのインストールについて、説明します。

### 4.1 List Creatorデザイナのインストール

以下のインストールについて、説明します。

- ・ List Creator デザイナ

#### 4.1.1 インストール前の作業

List Creatorデザイナをインストールする場合に、以下の留意事項があります。

##### ◆インストール時の留意事項

###### インストール方法

本製品のインストールは、必ず付属のインストールプログラムで行ってください。COPYコマンドなどで複写した場合は動作しません。

###### インストールフォルダのパス

インストールフォルダのパスには、「¥」の前後、およびパスの最後に半角空白を指定しないでください。

###### オペレーティングシステムのアップグレード

本製品、および本製品の製品媒体に含まれる製品がインストールされているオペレーティングシステムをアップグレードする場合、本製品、および本製品の製品媒体に含まれる製品をアンインストールしてから、オペレーティングシステムのアップグレードを行なってください。

また、オペレーティングシステムのアップグレード後に必要な製品をインストールしてください。

###### Windows更新プログラムの適用

Windows 8.1にインストールする場合、以下の更新プログラムが適用されていることを確認してください。

- ー KB2919442以降
- ー KB2919355以降

更新プログラムが適用されていない場合、更新プログラムを適用してください。

###### Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージのインストール

本インストーラは、以下のソフトウェアをインストールします。

- ー Visual Studio 2015、2017、および 2019 用 Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージ

このソフトウェアのインストールに失敗した場合、製品媒体にあるインストーラを使用して直接インストールした後、本インストーラを再度起動してください。

###### 環境変数

本製品のインストール時、環境変数PATHにList Creatorのインストールフォルダ名が自動的に追加されます。

###### Windows Defenderの履歴

Windows Defenderがインストールされている環境に本製品をインストールした場合、Windows Defenderの履歴に以下の内容が「警告レベル: 不明」として記録されることがありますが、そのままお使いいただいて問題ありません。

リソース	デザイナ
service:ListCREATOR Log Service	○
regkey:HKLM¥Software¥Microsoft¥Windows ¥CurrentVersion¥RunOnce¥¥List Creator	○

リソース	デザイナー
regkey:HKLM¥Software¥Microsoft¥Windows ¥CurrentVersion¥RunOnce¥¥ListCREATOR SAP Monitor	○
regkey:HKLM¥Software¥Microsoft¥Windows ¥CurrentVersion¥RunOnce¥¥LC_DataSource_DS	○

○:履歴に記録される

## ◆英語環境で運用する場合の留意事項

### 英語環境で運用する場合のWindowsのシステムロケール

英語環境で運用する場合は、インストール前にWindowsのシステムロケールが英語に設定されていることを確認してください。システムロケールにしたがってインストールされるモジュールやスタートメニューが決まります。インストール後にシステムロケールを変更した場合の動作は保証されません。

## ◆インストール時の排他製品に関する留意事項

### 混在してインストールできる製品

List Creator(x64)の他のエディションと混在インストールして使用したい場合は、本バージョンレベルのList Creatorデザイナーの、製品媒体(2/2)で提供するWindows 64ビットOS用を使用してください。

### ポイント

本バージョンレベルのList Creatorがインストール済みのシステムに、List Creator V6.0L10、またはListCREATOR V10.0L30以前の製品をインストール操作後、本バージョンレベルのList Creatorをインストール操作することはできません。“[5.1.3 手動による製品の削除手順](#)”を参照して製品を削除した後に、List Creatorをインストールしてください。

### 混在してインストールできない製品

以下の製品がインストール済みのシステムに対して本製品をインストールすることはできません。該当製品をアンインストール後、本製品をインストールしてください。

- SystemWalker/OutputASSIST
- SystemWalker for R/3 プリント連携
- SystemWalker for Oracle Applications プリント連携
- SystemWalker/e-DocGenerator
- デルバイ for MetaFrame
- Interstage List Manager Agent
- Interstage List Manager Workstation
- Interstage List Works Print Agent V10.1.1 (Solaris連携機能)

## ◆上書きインストールについて

### 上書きインストールに関する留意事項

旧バージョンのList Creator デザイナーと旧バージョンの32ビットアプリケーションとして動作する以下のList Creatorの他のエディションが混在してインストールされている場合、本バージョンのList Creator デザイナーを上書きインストールすることはできません。

インストール済みの旧バージョンのList Creatorをアンインストールした後にインストールを行ってください。

- List Creator Enterprise Edition
- List Creator Standard Edition
- List Creator Connector

### 上書きインストールする前に

本バージョンのList Creator デザイナを上書きインストールする場合は、以下のインストールフォルダのサブフォルダ配下のユーザ資源を退避してください。以下の機能は本バージョンで廃止されました。

- － 仕分け定義 (「インストールフォルダ¥Assort」配下のファイル)
- － クエリ定義 (「インストールフォルダ¥Query」配下のファイル) (List Creator デザイナのみ)

## ◆インストール順序に関する留意事項

### 本製品を先にインストール

- － 既に「Interstage List Creator for MetaFrame V6.0L10」、または「Systemwalker ListCREATOR for MetaFrame V10.0L30」をインストール済みのシステムに本製品をインストールする場合は、インストール済みの製品をアンインストールした後にインストールを行ってください。
- － 以下のいずれかがインストールされている環境に、本バージョンレベルのList Creator デザイナおよび本バージョンレベルのList Creator Workstation(x86)をインストールする場合には、List Creator デザイナを先にインストールする必要があります。
  - List Creator デザイナ V8.0.1以前
  - List Creator V8.0.1以前
  - ListCREATOR デザイナ V10.0L30以前
  - ListCREATOR V10.0L30以前

## ◆メッセージ表示時の留意事項

### システム環境変数PATHの設定ができない

インストール時にシステム環境変数PATHが長いなどの理由により、以下のメッセージが表示される場合があります。

「設定されている環境変数PATHが長すぎるため、List Creatorで必要な環境変数PATHの設定ができませんでした。ソフトウェア説明書を参照し、環境変数PATHを設定してください。」

上記の場合、システム環境変数PATHから不必要なパスを削除し、List Creatorのインストールディレクトリを設定してください。環境変数の設定方法については、Windowsのヘルプを参照してください。なお、List Creatorのデフォルトのインストールパスは「C:\¥ListCREATOR」です。

### OCR-Bフォントを登録できない

インストール時に、OCR-Bフォントの登録に失敗したメッセージが出力される場合があります。

「OCR-Bフォント「OCR-B FJ 10cpi (TrueType)」の登録に失敗しました。ソフトウェア説明書を参照して手動でフォントの登録を行ってください。」

上記の場合、Windowsのヘルプを参照し、以下のフォントをインストールしてください。

インストールフォルダ¥fjocrb10. ttf
--------------------------

## 4.1.2 インストール方法

1. Administratorsグループに属するユーザでログインします。
2. Windows Server 2016、Windows Server 2019のリモートデスクトップサービスをお使いの場合は、オペレーティングシステムの状態をInstallモードに変更してください。  
  
change user /install .... Installモードに変更する。  
change user /execute .... Applicationの実行モードに変更する。  
change user /query .... モードを表示する。  
  
なお、本製品のインストール後はApplicationの実行モードに戻してください。
3. 本製品の製品媒体を、ディスクドライブにセットします。  
  
インストールプログラムが自動的に起動されます。

自動的に起動されない場合には、製品媒体内のルート直下にあるAutorun.exeを実行してください。

4. 「インストール」をクリックします。
5. インストーラが起動されますので、表示されるメッセージにしたがってインストールを行います。
6. コンピュータの再起動後、インストールを完了させるためにAdministratorsグループに属するユーザでログインします。

### 4.1.3 インストール後の作業

---

本製品をインストール後は必ずコンピュータを再起動し、再起動後にAdministratorsグループに属するユーザでログインしてください。（インストール方法の手順6を必ず実施してください。）

Administratorsグループに属するユーザでログインしないと一部モジュールがインストールされず、正しく動作しない場合があります。

また、List Creatorの各機能を使用するための準備を、以下のとおり行います。

#### インストール直後の環境設定

インストール直後の帳票格納ディレクトリは、以下のフォルダとなります。

(インストールフォルダ)¥Assets
---------------------

環境に合わせて、環境設定または帳票定義一覧で変更してください。

## 4.2 SSIS連携機能のインストール

---

SSIS連携機能のインストールについて、説明します。

### 4.2.1 インストール前の作業

---

SSIS連携機能をインストールする場合に、以下の留意事項があります。

- ・ 本製品のインストールは、必ず付属のインストールプログラムで行ってください。COPYコマンドなどで複写した場合は動作しません。
- ・ 本製品のインストールの前に、使用する環境に必須ソフトウェアを必ずインストールしてください。
- ・ SSIS連携機能のインストーラは、Windows 64ビットOSのみサポートします。
- ・ 旧バージョンレベルのSSIS連携機能がインストールされている場合は、事前にアンインストールしてください。

### 4.2.2 インストール方法

---

1. Administratorsグループに属するユーザでログインします。
2. 製品媒体の¥Japanese¥LCSSIS¥setup.exeを起動します。
3. インストーラが起動されますので、表示されるメッセージにしたがってインストールを行います。

### 4.2.3 インストール後の作業

---

ありません。

## 4.3 XML Libraryのインストール

---

XML Libraryのインストールについて、説明します。

XML Libraryは、以下の場合に必要です。

- ・ List CreatorデザイナーでXMLファイルを参照して帳票を設計する場合

## 4.3.1 インストール前の作業

XML Libraryをインストールする場合に、以下の留意事項があります。

### ◆インストール時の留意事項

List Creator以外の製品にXML SDKまたはXML Libraryが同梱され提供されていることがあります。XML SDKまたはXML Libraryの提供する機能は、システム上に1つしか存在できませんので、他の製品が利用しているXML SDKまたはXML Libraryを無条件に置き換えることは、他の製品の動作不具合を招くことが考えられます。このため、現在お使いのシステムの状況を確認し、状況に合わせて対応する必要があります。

以下の手順でシステムの状況を確認し、インストール作業を実施してください。

1. 「コントロールパネル」から「プログラムと機能」を選択してください。
2. 現在インストールされているプログラムの一覧に、XMLプロセッサ(以下のいずれか)が存在するか確認してください。
  - Fujitsu XMLプロセッサ Vx.x
  - Fujitsu XML Processor Vx.x
  - Fujitsu XML Library (x.x.y.y)
3. XMLプロセッサが存在していない場合には、List Creatorに同梱されているXML Libraryをインストールしてください。
4. 既にインストールされているXMLプロセッサのバージョンレベル(x.xの部分)が、3.0、3.1、5.0、または5.2である場合は、List Creatorに同梱されているXML Libraryのインストールは不要です。

ただし、帳票資源の参照先、または帳票の出力先をUNC指定とする場合は、XML Library V5.2以降をインストールしてください。
5. 既にインストールされているXMLプロセッサのバージョンレベルが、3.0未満である場合は、以下の手順で本製品をインストールしてください。

現在XMLプロセッサを利用/同梱している製品を、V3.0、V3.1、V5.0またはV5.2のXML SDKに対応する版にバージョンアップした後、本製品をインストールしてください。
6. 英語環境で運用する場合は、XML Library V5.2以降をインストールしてください。

### ◆メッセージ表示時の対処

XMLプロセッサのインストール時に、Windows Installerコアモジュールのインストールで「Windows Installerを起動できません。管理者にお問い合わせください。」のメッセージが表示され、インストールが完了しない場合があることが確認されています。

以下の手順に従って作業をしてください。

1. 製品媒体をディスクドライブにセットします。
2. [スタート]—[すべてのプログラム]—[アクセサリ]のコマンド プロンプトを起動します。
3. 以下のコマンドラインを実行します。

— 日本語環境の場合

```
D:¥Japanese¥XML¥InstMsiW.exe /c /t:C:¥temp¥msi
```

— 英語環境の場合

```
D:¥English¥XML¥InstMsiW.exe /c /t:C:¥temp¥msi
```

ディスクドライブがDドライブの場合の例です。

このコマンドラインでは、「C:¥temp¥msi」フォルダの中に以下の Windowsインストーラファイルを展開します。

展開先は約4.6MBの空きが必要です。

```
Cabinet.dll  
Imagehlp.dll  
Instmsi.msi  
Msi.dll
```

Msiexec.exe  
Msihnd.dll  
Msiinst.exe  
Msimsg.dll  
Msls31.dll  
Mspatcha.dll  
Riched20.dll  
Shfolder.dll  
Usp10.dll

4. 以下のコマンドラインを実行します。

```
C:\temp\msi\msiinst.exe /i instmsi.msi /qb+
```

5. 「Windows インストーラのセットアップを正しく完了しました。」のメッセージが出てきたら、[OK] をクリックします。
6. XML Libraryをインストールします。

### 4.3.2 インストール方法

---

1. Administratorsグループに属するユーザでログインします。
2. 以下のフォルダに格納されているFujitsuXMLLib.msiを起動します。

- 日本語環境の場合

製品媒体のJapanese¥XML

- 英語環境の場合

製品媒体のEnglish¥XML

以降は、インストールプログラムの指示に従ってインストールを進めてください。

### 4.3.3 インストール後の作業

---

ありません。



## 第5章 アンインストール

List Creatorのアンインストールについて、説明します。

### 5.1 List Creatorデザイナのアンインストール

以下のアンインストールについて、説明します。

- ・ List Creatorデザイナ

#### 5.1.1 アンインストール前の作業

List Creatorデザイナをアンインストールする場合に、以下の留意事項があります。

- ・ 本バージョンレベルのList Creator デザイナがインストール済みのシステムに、List Creator V6.0L10、またはListCREATOR V10.0L30以前の製品をインストール操作後、本バージョンレベルのList Creator デザイナをアンインストールできません。“[5.1.3 手動による製品の削除手順](#)”を参照して製品を削除してください。

#### 5.1.2 アンインストール方法

1. Administratorsグループに属するユーザでログインします。
2. List Creatorプログラムが動作中の場合は、アプリケーションを終了します。
3. [コントロールパネル]から「ListCREATOR」をアンインストールします。
4. コンピュータを再起動します。



#### 注意

アンインストール実行中に、キャンセルボタンを押下してアンインストールを中断した場合、アンインストール開始から中断までに削除された一部のファイルは復旧されません。また、一部の環境設定情報も削除されます。アンインストールを中断した場合、それ以降は製品が正しく動作しませんので、再度アンインストールを実行し、すべてのファイルおよび環境を削除した上で、再度インストールを行ってください。

#### 5.1.3 手動による製品の削除手順

インストール時の不測の事態により、再インストールまたはアンインストールが正常に動作しなくなった場合、以下の手順によりハードディスク上からすべての関連資産を削除することで、元の環境に復旧することができます。なお、この作業を行う前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。

##### 【Windows版の場合】

1. サービスを停止します。  
[コントロールパネル]の[管理ツール]の[サービス]を起動し、以下のサービスが起動されている場合に停止します。
  - ListCREATOR Log Service
  - Print Spooler
2. ファイル/フォルダを削除します。
  - a. List Creatorのインストールディレクトリ  
[エクスプローラ]を起動し、インストール時に指定したフォルダを削除してください。  
以下にデフォルトのフォルダ名を記述します。これを参考に該当するフォルダを削除してください。  
なお、該当するフォルダ配下にユーザ資源がある場合は、必要に応じて退避してください。

(インストールドライブ):¥ListCREATOR

b. List Creatorのファイル

○:削除する必要があるファイル

【Windows 32ビットOSの場合】

Windowsディレクトリ配下System32サブディレクトリ内の以下のファイル

ファイル名	デザイナー
f3gbsmon.dat	○
f3gbsmon.dll	○
f3gbsmonv.dll	○
f3gbsmonvui.dat	○
f3gbsmonvui.dll	○

【Windows 64ビットOSの場合】

Windowsディレクトリ配下SysWOW64サブディレクトリ内の以下のファイル

ファイル名	デザイナー
f3gbsmon.dat	○
f3gbsmon.dll	○
f3gbsmonv.dll	○
f3gbsmonvui.dat	○
f3gbsmonvui.dll	○

Windowsディレクトリ配下System32サブディレクトリ内の以下のファイル

ファイル名	デザイナー
f4gbsmonv.dll	○
f4gbsmonvui.dat	○
f4gbsmonvui.dll	○

3. レジストリを削除します。

[レジストリエディタ] (Windowsフォルダ配下のSYSTEM32サブフォルダ内の[REGEDT32.EXE])を起動し、以下のレジストリキーのうち該当するキー配下をすべて削除してください。

○:削除する必要があるキー

a. 【Windows 32ビットOSの場合】

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Fujitsu配下の以下のキー

【Windows 64ビットOSの場合】

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥Fujitsu配下の以下のキー

キー名	デザイナー
SystemWalker/OutputASSIST	○

b. 【Windows 32ビットOSの場合】

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Fujitsu¥Install配下の以下のキー

【Windows 64ビットOSの場合】

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥Fujitsu¥Install配下の以下のキー

キー名	デザイナ
ListCREATOR	○

c. 【Windows 32ビットOSの場合】

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Fujitsu Limited配下の以下のキー

【Windows 64ビットOSの場合】

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥Fujitsu Limited配下の以下のキー

キー名	デザイナ
ListCREATOR	○

d. HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥EventLog¥Application配下の以下のキー

キー名	デザイナ
ListCREATOR	○
ListCREATOR:MeFt	○
ListCREATOR MeFt	○
F3GBSVLG	○
F3GBCONC	○

e. HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services配下の以下のキー

キー名	デザイナ
ListCREATOR Log Service	○

f. 【Windows 32ビットOSの場合】

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Uninstall配下の以下のキー

【Windows 64ビットOSの場合】

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Uninstall配下の以下のキー

キー名	デザイナ
[9c4b7cdf-6d79-41b5-8620-c7ab2511b1e3]	○

g. HKEY\_CURRENT\_USER¥SOFTWARE¥Fujitsu配下の以下のキー

キー名	デザイナ
SystemWalker/OutputASSIST	○

h. HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Control¥Print¥Monitors配下の以下のキー

キー名	デザイナ
FUJITSU ListCREATOR RDI Connect Port	○

4. PATH(システム環境変数)を削除します。

[コントロールパネル]の[システム]アイコンを起動し、[詳細]タブから[環境変数]を押して環境変数画面を表示します。システム環境変数の"Path"部を選択後、[編集]ボタンを押して編集画面を表示し“変数値”から2.のフォルダパス、およびそのフォルダパスを含んだパス名をすべて削除し、[OK]ボタンを押します。

5. アイコン/グループを削除します。

[エクスプローラ]で以下のフォルダを削除してください。

(システムドライブ) : ¥ProgramData¥Microsoft¥Windows¥スタート メニュー¥プログラム配下の以下のフォルダ

— List Creator

6. インストーラのフォルダを削除します。

[エクスプローラ]を起動し、以下のフォルダを削除してください。

【Windows 32ビットOSの場合】

```
%ProgramFiles%\¥InstallShield Installation Information¥{9C4B7CDF-6D79-41B5-8620-C7AB2511B1E3}
```

注：%ProgramFiles%は、環境変数を表します。通常は、「(システムドライブ):¥Program Files」です。

【Windows 64ビットOSの場合】

```
%ProgramFiles(x86)%¥InstallShield Installation¥{9C4B7CDF-6D79-41B5-8620-C7AB2511B1E3}
```

注：%ProgramFiles(x86)%は、環境変数を表します。通常は、「(システムドライブ):¥Program Files (x86)」です。

7. FJQSS(資料採取ツール)の定義を削除します。

1. [スタート]—[すべてのプログラム]—[アクセサリ]のコマンドプロンプトを起動します。
2. カレントフォルダを以下に移動します。

【Windows 32ビットOSの場合】

```
%ProgramFiles%\¥Fujitsu¥FJQSS
```

【Windows 64ビットOSの場合】

```
%ProgramFiles(x86)%¥Fujitsu¥FJQSS
```

3. 以下のコマンドラインを実行し、レジストリとスタートメニューを削除します。

【製品媒体(1/2)のList Creatorデザイナーがインストールされている場合】

```
setconf.exe UNINS "Interstage List Creator"
```

【製品媒体(2/2)のList Creatorデザイナーがインストールされている場合】

```
setconf.exe UNINS "Interstage List Creator_x64"
```

4. 以下のコマンドラインを実行し、スクリプトをコピーします。

```
copy /Y fjqss_notcir_unsetup.vbs %TEMP%
```

5. 以下のスクリプトを実行します。

```
cscript %TEMP%\¥fjqss_notcir_unsetup.vbs
```

List Creator以外に資料採取対象の製品が存在しない場合は、FJQSSが削除されます。

6. 以下のコマンドラインを実行し、コピーしたスクリプトを削除します。

```
DEL %TEMP%\¥fjqss_notcir_unsetup.vbs
```

8. 上記操作の終了後、コンピュータの再起動を行ってください。

## 5.1.4 アンインストール後の作業

ありません。

## 5.2 SSIS連携機能のアンインストール

---

SSIS連携機能のアンインストールについて、説明します。

### 5.2.1 アンインストール前の作業

---

ありません。

### 5.2.2 アンインストール方法

---

1. Administratorsグループに属するユーザでログインします。
2. SSIS連携機能を使用するユーザアプリケーションが実行中の場合は、そのアプリケーションを終了します。
3. [コントロールパネル]から「List Creator SSIS連携機能」をアンインストールします。



アンインストール実行中に、キャンセルボタンを押下してアンインストールを中断した場合、アンインストール開始から中断までに削除された一部のファイルは復旧されません。また、一部の環境設定情報も削除されます。

アンインストールを中断した場合、それ以降は製品が正しく動作しませんので、再度アンインストールを実行し、すべてのファイルおよび環境を削除した上で、再度インストールを行ってください。

### 5.2.3 手動による製品の削除手順

---

インストール時の不測の事態により、再インストールまたはアンインストールが正常に動作しなくなった場合、以下の手順によりハードディスク上からすべての関連資産を削除することで元の環境に復旧することができます。

なお、この作業を行う前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。

1. インストール先のサーバを再起動します。
2. Administratorsグループに属するユーザでログインします。
3. 実行コンポーネントを、アセンブリ キャッシュから削除します。
  1. [エクスプローラ]を起動し、Windowsディレクトリ配下のMicrosoft.NET¥assembly¥GAC\_32フォルダを開きます。
  2. GAC\_32ディレクトリの内容一覧が表示されますので、一覧にF3gbwdtsフォルダがあれば、そのF3gbwdtsフォルダを削除します。
  3. [エクスプローラ]を起動し、Windowsディレクトリ配下のMicrosoft.NET¥assembly¥GAC\_64フォルダを開きます。
  4. GAC\_64ディレクトリの内容一覧が表示されますので、一覧にF3gbwdtsフォルダがあれば、そのF3gbwdtsフォルダを削除します。
  5. [エクスプローラ]画面を閉じます。
4. ファイルを削除します。
  1. SQL Server 2017の共有機能ディレクトリ配下(\*1)¥140¥DTS¥PipelineComponents配下の以下のファイルを削除します。
    - f3gbwdts.dll
  2. SQL Server 2017の共有機能ディレクトリ(x86)配下(\*2)¥140¥DTS¥PipelineComponents配下の以下のファイルを削除します。
    - f3gbwdts.dll
  3. List Creatorインストールディレクトリ配下の以下のファイルを削除します。
    - f3gbwdtw.dll
    - f3gbfdia.dll
    - f4gbwdtw.dll

5. レジストリを削除します。

[レジストリエディタ](Windowsフォルダ配下のSYSTEM32サブフォルダ内の[REGEDT32.EXE])を起動し、以下のレジストリキーが存在する場合は削除してください。

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Uninstall配下の以下のキー

[5E015C01-2E7F-431B-8DF0-64270B67EAB8]

6. 上記操作の終了後、コンピュータの再起動を行ってください。

\*1:

初期値は、C:¥Program Files¥Microsoft SQL Serverです。

\*2:

初期値は、C:¥Program Files (x86)¥Microsoft SQL Serverです。

## 5.2.4 アンインストール後の作業

---

ありません。

## 5.3 XML Libraryのアンインストール

---

XML Libraryのアンインストールについて、説明します。

### 5.3.1 アンインストール前の作業

---

他の製品でXML Libraryを使用している場合があります。XML Libraryをアンインストールする場合は、他製品が使用していないことを確認してください。

### 5.3.2 アンインストール方法

---

1. コントロールパネルの「プログラムと機能」を起動します。
2. 一覧より「Fujitsu XML Library(5.2.0040)」を選択し、[追加と削除]をクリックします。なお、インストールしているXML Libraryのバージョンレベルにより、表示されるバージョンレベルが異なる場合があります。
3. アンインストール起動後は、画面の表示に従いアンインストールを続行してください。

### 5.3.3 アンインストール後の作業

---

ありません。

## 第6章 サイレントインストール

サイレントインストールは、インストール先などの指定画面やメッセージを表示せず、あらかじめ決められた指定に従って自動でインストールするインストール方法です。

サイレントインストールによるインストール方法について、説明します。



### 参考

インストール時に指定するインストール先フォルダなどのパラメーターを、CSVファイルに設定してサイレントインストールを実行する場合は、“[付録A CSVファイルを使用したサイレントインストール](#)”を参照してください。

## 6.1 インストール方法

サイレントインストールによるインストール手順は、以下のとおりです。

### 1. 応答ファイルの作成

1台のコンピュータでインストールし、インストール先などの指定を応答ファイルに記録します。

応答ファイルを作成するには、インストールプログラムを以下の形式で実行してください。なお、応答ファイルのパス名の拡張子には、必ず“iss”を指定してください。指定しない場合には、サイレントインストール実行時に異常終了します。

#### 日本語環境の場合

```
(ディスクドライブ)¥Japanese¥setup.exe -r [-f1作成する応答ファイルのパス名]
```

#### 英語環境の場合

```
(ディスクドライブ)¥English¥setup.exe -r [-f1作成する応答ファイルのパス名]
```



### 注意

- “-f1”オプションと応答ファイルパス名の間は空白を空けないで、続けて指定してください。空白を空けた場合は、正しく動作しません。
- “-f1”オプションを省略すると、応答ファイルはWindowsフォルダ配下に“setup.iss”というファイル名で自動的に作成されます。
- 応答ファイルのパス名に存在しないフォルダを指定した場合、以下のメッセージが表示されます。

「記録中に、レスポンスファイル' X X 'に書き込むことができません。  
コピー先ドライブに十分な空き容量があるか確認して下さい。」

この場合、応答ファイルは作成されずにインストールは実行されます。応答ファイルを作成するには、応答ファイルのパス名に存在するフォルダを指定して再度実行してください。

### 2. 応答ファイルの移行

サイレントインストールを行うコンピュータで応答ファイルを使用するため、上記1.で作成した応答ファイルをサイレントインストールを実行するコンピュータに移行します。

### 3. ログイン

Administratorsグループに属するユーザでログインします。

### 4. サイレントインストール

1.で作成した応答ファイルをインストールプログラムのコマンドオプションに指定してインストールプログラムを実行します。インストールプログラムの終了を待ち合わせるには“clone\_wait”オプションを指定してください。

## 日本語環境の場合

```
(ディスクドライブ)¥Japanese¥setup.exe -s [-clone_wait]
                                     [-f1応答ファイルのパス名]
                                     [-f2結果記録ファイルパス名]
```

## 英語環境の場合

```
(ディスクドライブ)¥English¥setup.exe -s [-clone_wait]
                                     [-f1応答ファイルのパス名]
                                     [-f2結果記録ファイルパス名]
```

## 注意

- WindowsのUAC(ユーザーアカウント制御)が有効な環境の場合は、「管理者:コマンドプロンプト」を使用してください。
- "-f1"オプションと応答ファイルパス名の間は空白を入れずに、続けて指定してください。空白を空けた場合は、正しく動作しません。
- "-f2"オプションと結果記録ファイルパス名の間は空白を入れずに続けて指定してください。空白を空けた場合は、正しく動作しません。
- "-f1"オプションを省略すると、応答ファイルのパス名には"setup.exe"と同一フォルダにある"setup.iss"が指定されたものとして動作します。
- "-f2"オプションを省略すると、"-f1"オプションで指定した応答ファイルと同一フォルダに"setup.log"というファイル名で自動的に作成されます。このとき、"-f1"オプションで指定したフォルダが存在しない場合、結果記録ファイルは作成されません。
- 結果記録ファイルのパス名に存在しないフォルダを指定した場合、結果記録ファイルは作成されずにサイレントインストールが実行されます。

## ポイント

### サイレントインストールの実行結果

サイレントインストールが成功したかどうかは、インストールプログラム実行時にコマンドオプション"-f2"で指定した結果記録ファイルの[ResponseResult]セクション内の"ResultCode"の値で確認できます。

ResultCode	意味	対処方法
0	正常終了	インストール後、コンピュータを再起動してください。また、再起動後は、Administratorsグループに属したユーザでログインしてください。
-3	応答ファイルの記述内容に誤りがある。	応答ファイル作成時、インストールフォルダ指定画面で[戻る]ボタンをクリックしないで応答ファイルを作成し、再度実行してください。 または、応答ファイルの内容を見直して、再度実行してください。
	Administratorsグループに属していないユーザで実行した。	Administratorsグループに属したユーザで再度実行してください。
	インストールドライブのディスクの空き容量が不足している。	不要なファイルを削除または、インストールドライブの空き容量を確認し、再度実行してください。
	既にインストールされている製品と同一バージョンの製品をインストールしようとした。	既にインストールされている製品をアンインストールした後、再度実行してください。
	サービスの登録に失敗した。	システム環境を見直し、再度実行してください。
-4	メモリ不足が発生しました。	すべてのアプリケーションを終了して再度実行してください。
-5	応答ファイルが見つかりません。	応答ファイルのパスを確認して、再度実行してください。
-8	応答ファイルの記述内容に誤りがあります。	応答ファイルを再度作成するか、応答ファイルの指定/内容を見直して再度実行してください。



ResultCode	意味	対処方法
上記以外	インストール中に異常が発生しました。	繰り返し同じ現象が発生する場合は、ログファイルの内容を確認し、当社技術員に連絡してください。

.....

## 第7章 追加インストール

本製品の他のエディションを、同一マシンに追加インストールする手順および注意事項について説明します。

### 追加インストールする前に

- 他のエディションを追加インストールする場合は、インストールフォルダのサブフォルダ配下のユーザ資源を退避してください。ユーザ資源とは以下のファイルです。
  - ー 帳票定義情報 (帳票格納ディレクトリ配下のファイル)
  - ー 組合せフォーム定義ファイル (帳票格納ディレクトリ配下のファイル)
- (インストールフォルダ)¥PrdocFMTフォルダは無条件で上書きされます。必要に応じて退避してください。

### 追加インストール手順

1. Administratorsグループに属するユーザでログインします。
2. List Creatorプログラムが動作中の場合は、アプリケーションを終了します。
3. インストールを行う製品の製品媒体をディスクドライブにセットします。  
インストールプログラムが自動的に起動されます。  
自動的に起動されない場合には、製品媒体内のAutorun.exeを実行してください。
4. 「インストール」をクリックします。
5. インストーラが起動されます。
6. 「変更」を選択し「次へ」ボタンを押します。
7. インストール済みの製品と、インストールを行おうとしている製品の製品名が表示されます。確認し問題が無ければ「次へ」ボタンを押し表示されるメッセージに従ってインストールを続行します。

## 付録A CSVファイルを使用したサイレントインストール

本製品のサイレントインストールは、以下の方式です。

- ・ 応答ファイル方式

標準応答ファイルにパラメーターを設定してサイレントインストールを実行します。

本手順では、パラメーターをCSVファイル(以下「インストールパラメーターCSVファイル」)で設定します。

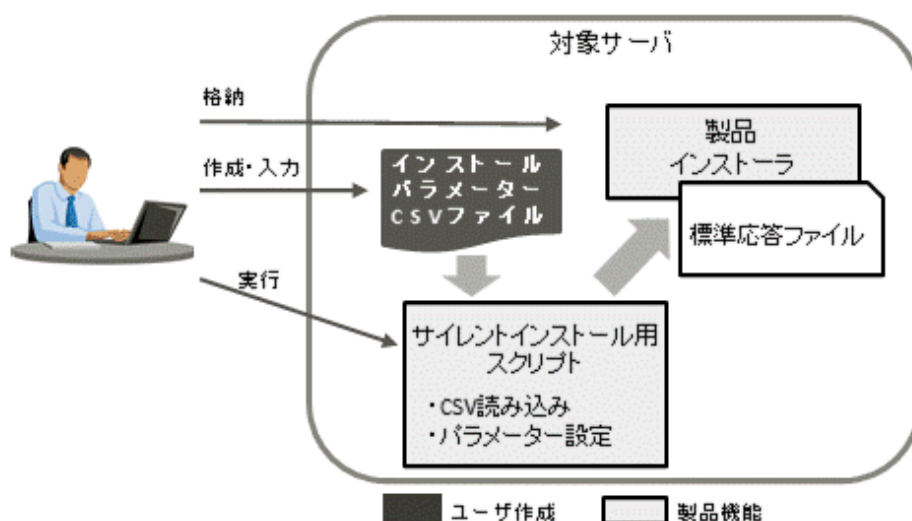
### 注意

- ・ すべてのパラメーターをデフォルト値でインストールする場合は、インストールパラメーターCSVファイルは不要です。本製品に添付の標準応答ファイルでサイレントインストールを実行してください。
- ・ 以下の場合は、「第6章 サイレントインストール」に従って、サイレントインストールを実施してください。
  - ー 旧バージョンから上書きインストールする場合
  - ー 他のエディションと混在してインストールする場合

### インストールの流れ

応答ファイル方式によるサイレントインストールを実施します。サイレントインストールの流れを以下に示します。

1. インストールパラメーターCSVファイルを作成します。  
本書とサンプルを参考に作成してください。
2. 対象サーバの任意のフォルダに以下のファイルを格納します。
  - ー 製品インストーラ
  - ー パラメーター設定用コマンド/スクリプト
  - ー 標準応答ファイル
  - ー 1で作成したインストールパラメーターCSVファイル
3. サイレントインストール用コマンド/スクリプトを実行します。



## A.1 インストールパラメーターCSVファイルの作成

### A.1.1 インストールパラメーターCSVファイル

インストールパラメーターは、製品媒体のcitool¥sampleフォルダ配下にあるサンプルファイル(sample\_lc\_param.csv)をコピーして作成します。

CSVファイルの記述形式は“[A.3 CSVファイルの形式](#)”を参照してください。

#### 文字コード

対象サーバのプラットフォームの文字コードに従います。

対象サーバがWindows環境の場合： Shift JIS

#### フォーマット

パラメーターの種類(installInfo/parameters)、パラメーターのキー名、パラメーターの値をCSVで記載します。

installInfo, softwareName,	[ソフトウェア名称]
installInfo, OS,	[OS名]
installInfo, Version,	[バージョン]
installInfo, Edition,	[エディション]
installInfo, Name,	[ソフトウェアID]
parameters, [パラメーターのキー名],	[パラメーターの値]
parameters, . . . ,	. . .



#### 注意

- 入力で指定するインストールパラメーターCSVファイルのパスの長さは、以下の長さを超えないようにしてください。  
Windows環境： 256バイト
- parametersパラメーターは1つ以上指定してください。

### A.1.2 installInfoパラメーター

installInfoパラメーターに設定する値は変更できません。

サンプルファイルに設定されている値のままお使いください。

### A.1.3 parametersパラメーター

parametersに設定できるパラメーターについて説明します。

キー名 : パラメーターのキー名を示します。  
<type>型 : パラメーターに入力可能なデータ型を示します。  
省略可否 : パラメーターが省略可能かを示します。  
デフォルト値 : パラメーターを省略した場合の値を示します。

#### 【Windows】

No.	分類	parametersパラメーター		説明
1	インストールフォルダ	キー名	szDir	インストール先のフォルダを指定してください。 インストールパラメーターCSVファイルを指定しないと、『C:¥ListCreator』が指定されたものとして動作します。
		<type>型	string	
		省略可否	不可	
		デフォルト値	C:¥ListCREATOR	

No.	分類	parameters/パラメーター		説明
2	再起動	キー名	BootOption	サイレントインストール終了後の再起動の有無を指定してください。  0:再起動しない 3:再起動する  インストールパラメーターCSVファイルを指定しないと、『0』が指定されたものとして動作します。
		<type>型	number	
		省略可否	可	
		デフォルト値	0	

#### 記述例: Windows

```
parameters, szDir, C:\¥ListCREATOR
parameters, BootOption, 0
```

## A.2 サイレントインストールの実行

### A.2.1 インストール前に必須な作業

本製品のインストールにあたっては、以下を参照してください。

本書の“[第4章 インストール](#)”および“[第5章 アンインストール](#)”

### A.2.2 インストールに必要な資源

本製品のサイレントインストール時には、以下の資源が必要です。

- ・ 製品媒体
- ・ サイレントインストール資源
- ・ 標準応答ファイル:lc\_standard\_setup.iss
- ・ サイレントインストール用スクリプト:lc\_silent\_install.bat、lc\_instparam.exe、csv\_parse.dll
- ・ インストールパラメーターCSVファイル

### A.2.3 インストール手順

#### 【Windows】

1. Administratorsグループに属するユーザでログインします。
2. Windows Server 2016、Windows Server 2019のリモートデスクトップサービスをお使いの場合は、オペレーティングシステムの状態をInstallモードに変更してください。

操作例:

(コマンドプロンプトを開き、以下のコマンドを実行)

```
> change user /install .... Installモードに変更する。
```

なお、本製品のインストール後はApplicationの実行モードに戻してください。

操作例:

(コマンドプロンプトを開き、以下のコマンドを実行)

```
> change user /execute .... Applicationの実行モードに変更する。
```

3. 製品媒体をディスクドライブにセットします。

操作例:

(Dドライブに製品媒体を格納)

4. サイレントインストール資源を格納します。

対象サーバの任意のフォルダにサイレントインストール資源(製品媒体の`citool¥install`フォルダ配下の全ファイル)を格納します。

操作例:

(以下のフォルダにサイレントインストール資源を格納)

`C:¥temp¥silentinstall`

5. サイレントインストール用スクリプトを実行します。

コマンドプロンプトを開き、手順4で作成したフォルダに移動後、日本語環境の場合は`Japanese`フォルダに、英語環境の場合は`English`フォルダに移動し、サイレントインストール用スクリプト(`lc_silent_install.bat`)を実行します。

サイレントインストール用スクリプトの記述形式は、以下のとおりです。

サイレントインストール用スクリプトの記述形式

`lc_silent_install.bat` 製品媒体のドライブレター [インストールパラメーターCSVファイル] (\*1)

第一引数…製品媒体のドライブレターを指定します。

第二引数…インストールパラメーターCSVファイルを指定します。

\*1:

インストールパラメーターCSVファイルは省略可能です。インストールパラメーターCSVファイルを指定しない場合は、標準の応答ファイルでサイレントインストールされます。

操作例:

(コマンドプロンプトを開き、以下のコマンドを実行)

```
> cd C:¥temp¥silentinstall¥Japanese
> lc_silent_install.bat D:¥ sample_lc_param.csv
```



- ー WindowsのUAC(ユーザーアカウント制御)が有効な環境の場合は、「管理者:コマンドプロンプト」を使用してください。

6. インストール結果を確認します。

インストール終了後、ログファイル(`lc_silentinstall.log`)に記載された[`ResponseResult`] セクション内の"`ResultCode`"の値を確認します。

ログファイルは、サイレントインストール用スクリプトの実行後、`%TEMP%`フォルダ配下に作成されます。前回のログファイルが存在する場合、前回のログファイルは`lc_silentinstall.bak`として`%TEMP%`フォルダ配下にバックアップされます。

"`ResultCode`"の詳細は、“[サイレントインストールの実行結果](#)”を参照してください。

## A.2.4 出力メッセージ

インストール時に出力されるメッセージについて説明します。

### サイレントインストール用スクリプトのエラー

#### ■インストールパラメーターCSVファイルのエラー

インストールパラメーターCSVファイルでのパラメーター指定に誤りがあります。

**CSV file error:code = 1, Invalid CSV error.**

#### 意味

CSVの記述形式が誤っています。

#### 対処方法

インストールパラメーターCSVファイルが「[A.3 CSVファイルの形式](#)」に合っていないです。

インストールパラメーターCSVファイルの形式を確認してください。

---

#### CSV file error:code = 2, installInfo/Name is required.

#### 意味

installInfo の Name パラメーターが指定されていません。

#### 対処方法

installInfo の Name パラメーターに製品名を指定してください。

---

#### CSV file error:code = 3, Invalid installInfo key.

#### 意味

installInfo の指定が誤っています。

#### 対処方法

installInfo の指定を確認してください。

---

#### CSV file error:code = 4, Duplicated installInfo key.

#### 意味

installInfo で同一パラメーターが重複定義されています。

#### 対処方法

重複している installInfo パラメーターを削除してください。

---

#### CSV file error:code = 5, Invalid character length.

#### 意味

指定した文字列が長すぎます。

#### 対処方法

指定した文字列の長さを確認してください。

---

#### CSV file error:code = 6, Invalid character format or encoding.

#### 意味

インストールパラメーターCSVファイルに不当な文字が指定されています。

#### 対処方法

インストールパラメーターCSVファイルの文字コードを確認してください。

---

#### CSV file error:code = 8, Parameter is required.

#### 意味

パラメーター値が指定されていません。

#### 対処方法

パラメーター値を確認してください。

---

### System error.

#### 意味

システムエラーが発生しました。

#### 対処方法

当メッセージと操作内容を記録し、当社技術員に連絡してください。

### ■パラメーター埋め込みルーチンでのエラー

サイレントインストール用スクリプトのパラメーター埋め込みルーチンでエラーが発生しました。

---

### Argument error: Usage: instparam -infile <input file path> -outfile <output file path>

#### 意味

パラメーター埋め込みルーチンの呼び出し方法に誤りがあります。

#### 対処方法

パラメーター埋め込みルーチンで指定するパラメーターを確認してください。

---

### Input file error.

#### 意味

パラメーター埋め込みルーチンが入力CSVファイルを読み込めません。

#### 対処方法

入力CSVファイルを確認してください。

---

### Output file error.

#### 意味

パラメーター埋め込みルーチンがパラメーター設定するための応答ファイルを出力できません。

#### 対処方法

応答ファイルが出力できるかを確認してください。

---

### System error.

#### 意味

システムエラーが発生しました。

#### 対処方法

当メッセージと操作内容を記録し、当社技術員に連絡してください。



---

## Template iss file error.

### 意味

標準応答ファイルに誤りがあります。

### 対処方法

標準応答ファイルを確認してください。

## 製品インストーラのエラー

製品インストーラを実行中のエラーについては、以下を参照してください。

本書の“[第4章 インストール](#)”および“[第5章 アンインストール](#)”

---

## A.2.5 インストール後の操作

インストール後に必要な操作について説明します。

サーバの再起動後、インストールを完了させるためにAdministratorsグループに属するユーザでログインします。

---

## A.3 CSVファイルの形式

CSVファイルの形式は、RFC4180を基に以下の仕様とします。

### レコードについて

- 各レコードは改行「CRLF」で区切ります。（「CR」、「LF」のみの改行は動作保証しません。）
- ファイル末尾には改行を指定してください。
- レコード内の各フィールドはカンマ「,」で区切ります。（カンマはASCII（1byte文字））

aaa,bbb,ccc
-------------

aaa	bbb	ccc
-----	-----	-----

- カンマが連続した場合、および、改行の前にカンマがある場合は、カンマの次に空データがあるものとします。

aaa,,ccc
aaa,bbb,

aaa		ccc
aaa	bbb	

- ヘッダーは指定できません。

aaa,bbb,ccc

field1	field2	field3
aaa	bbb	ccc

## ダブルクォーテーションについて

- ダブルクォーテーションで囲む場合は、同じレコードのすべてのフィールドをダブルクォーテーションで囲みます。

"aaa,bbb,ccc"
---------------

aaa	bbb	ccc
-----	-----	-----

- 改行、ダブルクォーテーション、カンマを含むフィールドは、ダブルクォーテーションで囲みます。

"aaa","bb b","ccc"
"aaa","bb,b","ccc"

aaa	bb b	ccc
aaa	bb,b	ccc

- ダブルクォーテーションで囲まれているフィールドでダブルクォーテーションを使用する場合は、ダブルクォーテーションでエスケープします。

"aaa","bb""b","ccc"
---------------------

aaa	bb"b	ccc
-----	------	-----



### 注意

以下の場合にはエラーとなります。

- 区切り(カンマ)の前後に空白、タブなどがある  
空白、タブなどを入れた場合、それらも1文字として認識するため、パラメーターエラーの原因となります。
- ダブルクォーテーションで囲まれているフィールドの前後に空白がある

"zzz ", "yyy ", " xxx "
-------------------------

- フィールド数が異なる

aaa,bbb
aaa,bbb,ccc
aaa,bbb,ccc,ddd

- ダブルクォーテーションで囲まれているフィールドと囲まれていないフィールドが混在する

aaa,"bbb",ccc
"xxx",yyy,"zzz"

- ダブルクォーテーションのエスケープが崩れている

"aaa","bb""b","ccc"
---------------------

## 付録B OutputASSISTからList Creatorへの移行手順

OutputASSISTからList Creatorへの移行手順について、説明します。

1. Administratorsグループに属するユーザでログインします。
2. OutputASSISTプログラムまたはe-DocGeneratorプログラムが動作中の場合は、アプリケーションを終了します。
3. OutputASSISTインストールフォルダのサブフォルダ配下のユーザ資源を退避します。
4. 「SystemWalker/OutputASSIST」と「SystemWalker/e-DocGenerator」をアンインストールします。
5. コンピュータの再起動後、「List Creator」をインストールします。
6. 退避したユーザ資産をList Creatorのサブフォルダ配下に復元します。
7. List Creator EEで、e-DocGeneratorにて利用者定義文字を使用されていた場合、再度「利用者定義文字登録」にて文字の登録作業を行います。

## 付録C ライセンス文

List Creatorの一部には、以下のソフトウェアが含まれております。

### libjpegのライセンス文

本製品は、JPEG の出力機能において、libjpegを使用しています。

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

### libtiffのライセンス文

本製品は、TIFFの出力機能において、libtiffを使用しています。

以下に、「libtiff」のライセンス文を示します。

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

### Info-ZIPのライセンス文

本製品は、Excelファイル出力機能、および帳票印刷配信機能(List Creator互換印刷機能)において、Info-ZIPを使用しています。

以下に「Info-ZIP」のライセンス文を示します。

This is version 2007-Mar-4 of the Info-ZIP license.

The definitive version of this document should be available at <ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html> indefinitely and a copy at <http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html>.

Copyright (c) 1990-2007 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions—including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP—must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases—including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

## FreeTypeのライセンス文

本製品は、Excel/PDFの出力機能において、FreeTypeを使用しています。

Portions of this software are copyright (c) 2007 The FreeType Project ([www.freetype.org](http://www.freetype.org)). All rights reserved.

## Microsoft Visual Studio 2017 再頒布可能ファイル

### (1) Microsoft Visual Studio 2017 再頒布可能コードについて

本ソフトウェアには、Microsoft Visual Studio 2017 再頒布可能コードが含まれています。お客様は、本ソフトウェアに含まれる Microsoft Visual Studio 2017再頒布可能コードを再頒布することはできません。

### (2) Microsoft Visual Studio 2017 再頒布可能ファイルのソフトウェアライセンス条項について

本ソフトウェアには、Microsoft Visual Studio 2017再頒布可能コードが含まれています。再頒布可能コードの使用については、以下のマイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項が適用されます。

マイクロソフト ソフトウェアライセンス条項

本ライセンス条項は、Microsoft Corporation（またはお客様の所在地に応じてはその関連会社）とお客様との契約を構成します。本ライセンス条項は、上記のソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）に適用されます。本ライセンス条項は、別途のライセンス条項が付属している場合を除き、本ソフトウェアに関連するマイクロソフトのサービスまたは更新プログラムにも適用されます。

本ライセンス条項を遵守することを条件として、お客様には以下の権利が許諾されます。

1. インストールおよび使用に関する権利

お客様は、本ソフトウェアの任意の数の複製をインストールして使用することができます。

2. 特定のコンポーネントに関する条件

a. ユーティリティ本ソフトウェアには、<https://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=823097>

にあるユーティリティ一覧に示された一定の製品が含まれている場合があります。これらのユーティリティが本ソフトウェアに同梱されている場合は、本ソフトウェアを使用してお客様が開発されたアプリケーションおよびデータベースをデバッグおよび展開するために、デバイスに複製してインストールすることができます。ユーティリティは一時的な使用を目的として設計されていること、マイクロソフトは本ソフトウェアの他のコンポーネントと切り離してユーティリティにパッチを適用したり、ユーティリティを更新したりできない場合があること、および一部のユーティリティはその性質上、そのユーティリティがインストールされているデバイスに他者がアクセスできるようにすることが可能であることに注意してください。このため、お客様は、お客様のアプリケーションおよびデータベースのデバッグまたは展開が終了した後で、お客様がインストールしたすべてのユーティリティを削除する必要があります。マイクロソフトは、お客様が任意のデバイスにインストールしたユーティリティの第三者による使用またはアクセスについて責任を負いません。

b. ビルド ツール本ソフトウェアには、特定の使用条件が規定されているビルド ツールが含まれる場合があります。ビルド ツールでは、お客様は、本ソフトウェアのファイルを、オンプレミス コンピューターであるかリモート コンピューターであるか、お客様が所有しているか、お客様のために Azure 上にホスティングされているか、またはお客様専用であるかを問わない、物理デバイスや、仮想マシンまたは当該マシン上のコンテナを含むお客様のビルド デバイス（以下総称して「ビルドデバイス」といいます）に複製してインストールすることができます。お客様およびお客様の組織の他のユーザーは、アプリケーションのコンパイル、ビルド、および検証を行う目的、またはビルド プロセスの一環として当該アプリケーションの品質またはパフォーマンス テストを実行する目的に限り、お客様のビルド デバイス上でこれらのファイルを使用することができます。明示のために、「アプリケーション」とは、各自が本ソフトウェアを使用するライセンスを取得しているお客様およびお客様の組織の他のユーザーが開発したアプリケーションを意味します。

c. マイクロソフト プラットフォーム本ソフトウェアには、Microsoft Windows、Microsoft Windows Server、Microsoft SQL Server、Microsoft Exchange、Microsoft Office、および Microsoft SharePoint のコンポーネントが含まれていることがあります。これらのコンポーネントには、本ソフトウェアに付属しているマイクロソフトの「Licenses」フォルダーに規定されている、別途のライセンス条項および固有の製品サポート ポリシーが適用されます。ただし、関連するインストール ディレクトリにこれらのコンポーネントのライセンス条項も含まれている場合は当該ライセンス条項が適用されます。

d. 第三者のコンポーネント本ソフトウェアには、別途の法的通知を含みまたは別の契約が適用される第三者のコンポーネントが含まれている場合があり、これらについては本ソフトウェアに付属する ThirdPartyNotices ファイルに規定されています。

3. データ

a. データ収集本ソフトウェアは、お客様およびお客様による本ソフトウェアの使用に関する情報を収集し、マイクロソフトに送信することがあります。マイクロソフトは

この情報を、サービスの提供ならびにマイクロソフトの製品およびサービスの向上を目的として使用することがあります。お客様は、製品付属の文書に説明されているとおり、これらの情報収集の多くを停止することができますが、すべてを停止することはできません。また、本ソフトウェアにある特定の機能を使用すると、お客様およびマイクロソフトがお客様のアプリケーションのユーザーからデータを収集できる場合があります。お客様は、これらの機能を使用する場合、お客様のアプリケーションのユーザーに適切な通知を提供するなど、適用される法令を遵守しなければなりません。また、マイクロソフトのプライバシーに関する声明をお客様のユーザーに提供してください。マイクロソフトのプライバシーに関する声明は  
<https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=824704>  
をご参照ください。データの収集および使用の詳細については、ヘルプ ドキュメント およびマイクロソフトのプライバシーに関する声明を参照してください。本ソフトウェアを使用した場合、お客様はこれらの規定に同意したものとみなされます。

- b. 個人データの処理マイクロソフトが、本ソフトウェアに関して個人データの処理者または下請処理者である場合、マイクロソフトは、2018 年 5 月 25 日より有効となったオンライン サービス条件 (<http://go.microsoft.com/?linkid=9840733>) の EU 一般データ保護規則条件の遵守をすべてのお客様に約束します。
4. ライセンスの適用範囲本ソフトウェアは使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。本ライセンス条項は、お客様に本ソフトウェアを使用する限定的な権利を許諾します。その他の権利はすべてマイクロソフトが留保します。適用される法令によって本ライセンス条項の制限を超える権利が許諾される場合を除き、お客様は本ライセンス条項で明示的に許可された方法でのみ本ソフトウェアを使用することができます。お客様は、ソフトウェアに組み込まれた使用方法を制限する技術的制限に従うものとします。以下の行為は禁じられています。
- ・ 本ソフトウェアの技術的な制限を回避すること。
  - ・ 本ソフトウェアをリバース エンジニアリング、逆コンパイル、もしくは逆アセンブルすること、またはその他の方法で本ソフトウェアのソース コードの解明を試みること。ただし、本ソフトウェアに含まれる場合がある一定のオープンソースコンポーネントの使用に適用される第三者のライセンス条項により求められている場合を除きます。
  - ・ ソフトウェアの Microsoft またはサウライヤの通知を削除、最小化、ブロックまたは修正すること。
  - ・ 法律に違反する方法で本ソフトウェアを使用すること。
  - ・ 本ソフトウェアを共有、公開、レンタル、もしくはリースすること、本ソフトウェアを第三者が使用できるようにスタンドアロンのホスト型ソリューションとして提供すること、または本ソフトウェアもしくは本ライセンス条項を第三者に譲渡すること。
5. 輸出規制お客様は、本ソフトウェアに適用されるすべての国内法および国際法（輸対象国、エンド ユーザーおよびエンド ユーザーによる使用に関する制限を含みます）を遵守しなければなりません。輸出規制の詳細については [www.microsoft.com/exporting](http://www.microsoft.com/exporting) をご参照ください。
6. サポート サービス本ソフトウェアは「現状有姿のまま」で提供されるため、マイクロソフトは本ソフトウェアに関してサポート サービスを提供しない場合があります。
7. 完全合意本ライセンス条項ならびにお客様が使用する追加物、更新プログラム、インターネット ベースのサービスおよびサポート サービスに関する条項は、本ソフトウェアおよびサポート サービスについてのお客様とマイクロソフトとの間の完全なる合意です。
8. 準拠法お客様が本ソフトウェアを米国内で入手された場合、本ライセンス条項の解釈および契約違反への主張は、米国のワシントン州法に準拠するものとします。他の主張については、お客様が所在する地域の法律に準拠します。お客様が本ソフトウェアを他の国で入手した場合は、当該地域の法律を準拠法とします。

9. 消費者の権利、地域による違い本契約は、特定の法的な権利を規定したものです。お客様は、地域や国によっては、消費者権利を含め、その他の権利を有する場合があります。Microsoft とお客様との関係とは別に、お客様が本ソフトウェアを取得した当事者に関する権利を有する場合があります。本契約は、お客様の地域または国の法令が権利の変更を許容しない場合、それらのその他の権利を変更しないものとします。たとえば、お客様が本ソフトウェアを以下のいずれかの地域で取得した場合、または強行的な国の法令が適用される場合には、以下の規定がお客様に適用されます。

- a. オーストラリアお客様は、オーストラリア消費者法に基づく法定保証を有し、本ライセンス条項は、それらの権利に影響を与えることを意図するものではありません。
- b. カナダ本ソフトウェアをカナダで取得した場合、自動更新機能をオフにし、お使いの機器をインターネットから外すと、更新受信を停止することができます（ただし、インターネットに再接続した場合、および再接続したとき、本ソフトウェアは更新プログラムのチェックとインストールを再開します）、製品付属の文書がある場合は、当該文書にお客様の特定のデバイスまたはソフトウェアの更新をオフにする方法が記載されていることもあります。

c. ドイツおよびオーストリア

- (i) 保証正規にライセンスを取得したソフトウェアは、本ソフトウェアに付属するマイクロソフトの資料の記載に実質的に従って動作します。ただし、マイクロソフトは、ライセンスを取得したソフトウェアに関して契約上の保証は一切いたしません。

- (ii) 限定責任故意、重過失、製品責任法に基づく請求があった場合、および死亡、人的または物的損傷があった場合、Microsoft では、制定法にしたがって責任を負うものとします。

前掲条項 ii. にしたがって、Microsoft は、Microsoft が当該の契約上の重大義務違反をした場合で、かつ同義務が本契約の正当な履行の土台となるため、同違反が本契約の目的および一方の当事者が通常信頼を置く同義務への準拠の履行が危うくなる場合（いわゆる「基本的義務」）について、軽過失についてのみ責任を負うものとします。その他の軽過失については、マイクロソフトは責任を負いません。

10. 保証の免責：本ソフトウェアは、現状有姿のまま提供されます。Wiki サービスを使用することで生じるリスクは、お客様が負うものとします。マイクロソフトは、明示的な瑕疵担保責任または保証責任を一切負いません。お客様の地域の法律によって認められる範囲において、マイクロソフトは、商品性、特定目的に対する適合性、および侵害の不存在に関して一切責任を負いません。

11. 責任の制限および除外：マイクロソフトおよびそのサプライヤーの責任は、5 米ドルを上限とする直接損害に限定されます。マイクロソフトは、派生的損害、逸失利益、特別損害、間接損害、または付随的損害を含め、その他の損害について一切責任を負いません。

この制限は、(a) 本ソフトウェア、サービス、第三者のインターネットのサイト上のコンテンツ（コードを含みます）または第三者のアプリケーションに関連した事項、および (b) 契約違反、保証違反、厳格責任、過失、または不法行為等の請求（適用される法令により認められている範囲において）に適用されます。

この制限は、マイクロソフトがこのような損害の可能性を認識していたか、または認識しえた場合にも適用されます。また、国によっては付随的損害、派生的損害等またはその他の損害に対する責任の排除または制限を認めていないことがあるため、上記の制限または排除がお客様に適用されない場合があります。

EULA ID: VS\_2017\_TOOLS\_ADDONS\_C++\_RTW\_3\_JPN



# 索引

---

	[M]	
memoryestimate.xlsx.....		8,9
	[O]	
OutputASSIST.....		35
	[あ]	
アンインストール.....		17
移行手順.....		35
インストール.....		11
	[さ]	
サイレントインストール.....		23,27
サイレントインストールの実行結果.....		24
	[た]	
追加インストール.....		26
提供媒体.....		8
提供媒体(List Creatorデザイナー).....		8
ディスク容量(インストール時).....		7
ディスク容量(運用時).....		7
動作環境.....		1
	[は]	
必要な資源.....		7
	[ま]	
メモリ量.....		7
	[ら]	
ライセンス文.....		36